

# 学習塾のチャレンジ・プログラムから 誕生した最年少応援団

ITTO個別指導学院深沢校(東京都世田谷区)6年生有志の皆さん



地球環境の話に真剣に聞き入る小さな応援団のメンバー



さかうえ薬局では地球環境基金の募金箱が受付カウンターに



「まだまだ頑張るよ!」募金箱を手に集合したITTO個別指導学院深沢校6年生有志の皆さん

「先生に“チャレンジカップ”に挑戦してみようと誘われ、地球のためになる活動がしたいと思いました」。“チャレンジカップ”とは、「挑戦していること、新たに挑戦したいことをチームもしくは個人で目標設定し、5カ月間、達成に向けてチャレンジしよう」という、全国の塾ネットワークに加入している塾に在籍する小・中学校、専門学校生を対象とするキャンペーン。主催は、学習塾等へのプログラム提供を手がける(株)FCエデュケーション。ITTO個別指導学院深沢校もこのキャンペーンにエントリーしており、リーダーの内藤颯一君をはじめ10人の小学6年生の仲間たちが、自分たちのチャレンジテーマとして地球環境基金の募金活動を選びました。

チャレンジテーマをなににしようかと相談しているとき、みんなの脳裏に浮かんだのは小学校の社会科の授業で勉強した地球温暖化や森林破壊、絶滅危惧生物のことだったと言います。「僕たちの地球が壊れたら困る!」そんな純粋な思いから、「地球のためになる活動」に挑戦しようという方向が決まりました。

それから、塾の矢部裕貴先生に手伝ってもらいながらインターネットな

どを調べ、さまざまな環境保全活動を行っているNGO、NPOという市民団体があることや、その活動を支援する地球環境基金の存在を知りました。「私たちも募金活動をしよう!」。地球環境基金の最年少応援団の誕生です。

募金箱の借り出しなど、地球環境基金部との連絡係をつとめたのはしっかり者の佐藤心ちゃん。みんなで手分けして塾の近所の商店に募金箱を置かせてもらえるようお願いにも回りました。こうして、調剤薬局のさかうえ薬局、総菜店のたまやさんなどの協力を得て、募金活動がスタート。

子どもたちに募金活動の感想をたずねると、「みんなでやるのは楽しい!」「ちょっと大変だけど楽しい!」と元気な笑顔。募金箱設置協力店からの感想は、「みんなとても熱心です」。でも、一生懸命のあまり、毎日、募金箱をのぞきに行ってしまうたりとちょっと周囲をハラハラさせる場面も。

みんなの元気な姿を撮影に訪れたその日、地球環境基金の担当スタッフから地球環境や保全活動の話をお聞き、今回のチャレンジをきっかけに、その素直な気持ちを大切にしながら、もっともって地球のことを勉強していくという約束をしました。

## 地球環境基金って、なあに?



地球温暖化防止や生物多様性保全などさまざまな環境問題が報じられ、環境を守ろうという意識が高まるなかで、行動力やアイデアに富んだ民間団体による環境保全活動に大きな期待が寄せられています。地球環境基金は、そんな民間の環境保全活動に対して資金助成などを行っています。国民の皆様からのご寄付と国からの資金拠出をもとに1993年に創設され、現在までに国内外の環境保全に取り組む延べ約3,400団体の活動資金(約118億円)をサポートさせていただき、着実な成果を上げています。



「キキンちゃん」は地球環境基金のシンボルマークです。「あなたの町で見かけたら、大切な地球のことを思い出してくれるとうれしいです」

地球環境基金のホームページ <http://www.erca.go.jp/jfge> もご覧ください。

## 地球環境基金からのお知らせ

☆平成21年度地球環境基金助成金  
要望および内定の状況(件数および金額)

	要 望	内 定
一般助成	288件 16億7,864万円	129件 4億6,110万円
発展助成	220件 7億6,296万円	39件 8,960万円
合計	508件 24億4,160万円	168件 5億5,070万円